

令和5年7月九州北部豪雨災害 復旧・復興推進チーム 第4回会議

日時:令和5年8月3日(木)16:30~
場所:県庁新館4階 庁議室

【次 第】

- 1 衆議院災害対策特別委員会視察の報告
- 2 各部局等における復旧・復興の取組状況について
- 3 関係機関等の活動報告

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】</p> <p>I インフラ関連グループ（県土整備部）</p>
<p>【取組項目】</p> <p>① 道路、河川などインフラ関連の復旧</p> <p>② 土砂災害への対応</p>
<p>【課題】</p> <p>① 早急な被害状況の全容把握</p> <p>② 被害拡大を防ぐための応急対策</p> <p>③ 復旧に向けた体制確保</p> <p>・地元調整や設計・工事発注に係る体制の確保</p>
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <p>① 被害状況の把握について</p> <p>・豪雨直後から冠水箇所や被災箇所等の調査を行い、被害状況を把握</p> <p>・公共土木施設の被害状況報告（7/18時点）</p> <p>県施設 265箇所（約55億円）</p> <p>市町施設 415箇所（約51億円）</p> <p>計 680箇所（約106億円）</p> <p>② 応急対応について</p> <p>・被害拡大を防ぐため、速やかに応急対応を実施中</p> <p>・土砂災害箇所（浜玉町今坂地区）に雨量計やセンサー、警報装置を設置し斜面の監視を実施中</p> <p>③ 今後の本復旧について</p> <p>・市町と連携しながら災害査定の準備を実施</p> <p>被害が多かった地域への技術職員の派遣（8/3時点）</p> <p>唐津市役所：延べ24人・日、唐津土木事務所：延べ36人・日</p> <p>・有明海沿岸の流木等への対応</p> <p>流木等の漂着量（7/21時点） 約3,200m³</p> <p>建設海岸（佐賀市、小城市、鹿島市、白石町、太良町）に漂着した流木等について7月25日から、順次、撤去作業を実施</p>
<p>【今後の対応】</p> <p>① 早急に被災状況調査を完了させ、市町を含めた被害の実態を把握</p> <p>② 本復旧までに被害拡大がしないよう応急対策工事を進める</p> <p>③ 災害復旧に向けた体制を整え、速やかに調査、測量及び設計を実施</p>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】</p> <p>I インフラ関連グループ（農林水産部）</p>
<p>【取組項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地・農業用施設等の被害対応 ○ 林地、林道、林業用施設の被害対応 ○ 漁港・農地海岸の被害対応
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害全容の早期把握
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農林事務所、農業振興センターが現場に出向き、被害の状況把握を行っている
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地、林地等の被害状況の詳細な把握 <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農道等の土地改良施設（災害査定に向けた対応） 農地、水路、農道、ため池等の法面崩壊 <u>継続して被害把握・査定準備の実施</u> ・林地、林道等（災害査定に向けた対応） 林地・林道等被害（法面崩壊等） <u>継続して被害把握・査定準備の実施</u> ・農地海岸（災害査定に向けた対応） ○ 漁港や農地海岸に漂着した流木等の除去 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港への流木等漂着（佐賀市、唐津市など） →漂着した流木等の撤去（7/18 着手）作業を継続 ・農地海岸への流木等漂着（佐賀市、鹿島市、白石町、太良町） →漂着した流木等の撤去（7/25 着手）作業を継続 <u>〔再掲：有明海沿岸流木等漂着量（7/21 時点） 約 3,200 m³〕</u> ・漂流している流木等の撤去（7/21 着手）作業を継続 ○ 災害復旧に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・国への要望（災害査定の早期実施など） ・災害復旧工事の実施 農地、農業用施設 林地、林道、林業用施設 ・<u>災害査定に向けた準備のため、県職員（農業土木、林業）を7月19日から唐津市への応援を実施（延べ人数46人・日）</u>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】</p> <p>Ⅱ 産業関連グループ（農林水産部）</p>
<p>【取組項目】</p> <p>○ 農林水産物等の被害対応</p>
<p>【課題】</p> <p>○ 被害全容の早期把握</p> <p>○ 被災者が前を向いて農林水産業の経営を継続できるよう支援を行う必要がある</p>
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <p>○ 農林事務所や農業振興センターが現場に出向き、被害の状況把握</p> <p>○ 被災後の栽培管理に生かしてもらうため、農業技術防除センターが技術情報を発信（7/10, 7/12, 7/13）、栽培管理は農業振興センターが現地に入って技術指導の実施</p> <p>○ <u>被災したハウスの再建、改植（果樹などの植えなおし）や再播種（野菜などの種子のまきなおし）など経営が継続できるよう支援していく</u></p>
<p>【今後の対応】</p> <p>○ 農作物等の被害状況の詳細な把握</p> <p> 【農作物】</p> <p> ・浸冠水等による農作物被害 <u>継続して被害額等把握の実施</u></p> <p> ハウスみかん（唐津市）、ほうれんそう（佐賀市、神崎市ほか）</p> <p> アスパラガス（佐賀市、唐津市、上峰町、みやき町ほか）</p> <p> ねぎ（唐津市）、トマト（佐賀市ほか）、きゅうり（唐津市）</p> <p> 花き（佐賀市、唐津市、みやき町）</p> <p> 水稲（佐賀市、唐津市、神崎市、みやき町ほか）など</p> <p> 【農業用施設・設備】 <u>継続して被害額等把握の実施</u></p> <p> ・土砂流入等によるハウス損壊（品目：ハウスみかん、ほうれんそうなど）</p> <p> ・農業用倉庫の損壊</p> <p> ・畜産施設への土砂流入や浸水</p> <p> ・農業用設備の水没（ハウス加温機など）</p> <p> 【水産関係】</p> <p> ・<u>有明海沿岸の流木等の撤去を継続</u></p> <p>○ 農林水産業の経営継続に向けた支援</p> <p>○ 農業振興センターによる農作物の生育の回復に向けた技術支援</p>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 I インフラ関連グループ（地域交流部）</p>
<p>【取組項目】 被災した鉄道の復旧対応</p>
<p>【課題】 ・長崎本線の被災箇所は、県管理河川（三本松川）との交差箇所であり、河川堤防の復旧工事との調整が必要</p>
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】 ・担当職員が現地を確認するなど、被災箇所や被災状況の把握を行い、JR九州及び庁内各課との連絡・調整を行った</p> <p>（被災箇所） 長崎本線（吉野ヶ里－神埼間）築堤崩壊・・・7/11 朝運行再開（仮復旧済） 唐津線（相知－本牟田部間）土砂流入・・・7/11 朝運行再開（仮復旧済） 筑肥線（山本－肥前久保間）築堤崩壊等・・・7/11 夕運行再開（仮復旧済）</p>
<p>【今後の対応】 ・本復旧に向けた検討状況を把握し、必要な調整を行っていく</p>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（地域交流部、県土整備部）			
【取組項目】 住宅支援（住宅の応急修理など）			
【課題】 ・住宅が損壊し、「住宅の応急修理」や「みなし仮設住宅への入居」が必要となる世帯数を把握し、被災者の方の意向を踏まえた対応が必要			
【住家被害】※被害調査確定前での概数のため今後変更となる可能性あり（8/2 現在）			
種別	棟数	内訳等	
全壊	4	佐賀市 1、唐津市 3	
半壊	1	佐賀市 1	
一部破損	28	佐賀市 14、唐津市 13、伊万里市 1	
床上浸水	7	佐賀市 3、唐津市 1、神崎市 3	
床下浸水	73	佐賀市 18、唐津市 4、伊万里市 2、神崎市 49	
合計	113	佐賀市 37、唐津市 21、伊万里市 3、神崎市 52	
【罹災証明発行状況】 （8/2 現在）			
被害の程度	申請数	発行数	内訳等
全壊	佐賀市：40	4	佐賀市 1、唐津市 3
半壊	唐津市：37	1	佐賀市 1
準半壊	神崎市：3	4	佐賀市 3、唐津市 1
一部損壊		50	佐賀市 32、唐津市 17、神崎市 1
合計	80	59	佐賀市 37、唐津市 21、神崎市 1
申請数における発行数の割合：73%			
【復旧・復興に向けた取組状況】			
・「住宅の応急修理」や「みなし仮設住宅」の受付を7月24日に開始し、相談や手続きを進めているところ （応急修理相談件数：3件、みなし仮設住宅相談件数：4件） ※応急修理の対象世帯は、住宅の被害の程度が準半壊以上 ※みなし仮設住宅の対象世帯は、住宅の被害の程度が全壊（原則）で、居住する住宅がない場合			

・公営住宅一時入居の相談受付を7月19日に開始し、2世帯（佐賀市）入居済み
（相談件数：6件）

※住宅に居住困難な被害を受けた世帯が対象

・県独自の被災者生活再建支援金の申請を受け付けており、2世帯（佐賀市1世帯、
唐津市1世帯）の申請を受理

※被災者生活再建支援の対象世帯は、全壊、大規模半壊、中規模半壊及び半壊で
やむなく解体した世帯

※8月3日現在

【今後の対応】

・被災者の意向を踏まえ対応していく

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅱ 産業関連グループ（産業労働部）</p>
<p>【取組項目】 企業活動の再開支援</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県として被害情報の把握を行い、度重なる自然災害やエネルギー価格高騰により経営的に痛手を負っている事業者を支援していく ・長崎自動車道東脊振 IC～鳥栖 IC 間の通行止めが物流や通勤に影響するとの声があり、早期の通行再開が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工団体の協力も得ながら被害状況を調査 7市町で <u>54</u> 件（浸水 <u>30</u> 件、土砂崩れ <u>20</u> 件など）、約 <u>135 百万円</u> の被害を把握 ・災害復旧資金の取扱いを開始（7月11日） 融資限度額：6,000万円 資金の用途：災害復旧を行うために必要とする設備資金及び運転資金 貸付利率：年0.9% 保証料率：年0%（県が全額負担） 貸付期間：10年以内（うち据置期間2年以内） 受付機関：最寄りの金融機関 ・金融特別相談窓口を設置（7月10日、産業政策課内） ・長崎自動車道の通行止めは7月13日に解除
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き被害状況の把握に努め、災害復旧・活動再開に向けた支援を実施

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（健康福祉部）</p>
<p>【取組項目】 被災者の支援</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の状況（8/1 現在）：唐津市 1 か所の避難所に 5 世帯 8 人が避難中（ピーク時（7/10 把握分）：18 市町、134 か所の避難所に 214 世帯 318 人が避難） ・避難所生活における健康管理や生活再建に向けたニーズ把握が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <p>（避難所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所（浜玉市民センター）は新しい施設で空調も整っている ・唐津市の保健師が避難所において健康チェックを継続中であり体調が悪い方はいない <p>（生活再建に向けた支援、義援金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐津市が健康管理・生活再建支援として被災地区の家庭（181 世帯、517 人）を訪問し被災者状況確認票を作成。今後、必要に応じて対応していく。 ・県、日赤、共同募金会と連携し「令和5年7月九州北部豪雨佐賀県義援金」を受付。7/18（火）～9/19（火）の2か月間で受付し速やかに配分する予定 8/1 把握分で 15,282,513 円の温かいお気持ちが寄せられている。
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活再建に向けたニーズを把握し被災された方に寄り添って支援していく

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（県民環境部）		
【取組項目】 災害ボランティアの活動支援		
【課題】 ・被災地の現場ニーズを把握し、関係機関と情報共有・連携しながら、ボランティア活動の円滑な実施を図る必要がある		
【復旧・復興に向けた取組状況】 【災害ボランティアセンター設置状況】		
名 称	佐賀市災害ボランティアセンター	唐津市災害ボランティアセンター
設置者	佐賀市社会福祉協議会	唐津市社会福祉協議会
場 所	佐賀市立大和老人福祉センター （佐賀市大和町大字久池井）	【7/24（月）～】 唐津市七山鳴神の丘ふれあい館 （唐津市七山滝川） 【7/12（水）～7/23（日）】 唐津市ひれふりランド （唐津市浜玉町湊上）
募集人数	1日あたり 30人	1日あたり 20人（7/25～）
作業内容	主に住居周辺の泥かき	
設置日等	設置・受付開始日：7月12日（水） 活動開始日：7月14日（金）	
<p>【支援状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア参加への呼びかけ ・県と包括連携協定を締結している企業等への働きかけによる災害ボランティアセンター及び災害ボランティア団体への物資等の提供・貸与 ・ボランティアに対する有料道路の通行料金の無料化（7/14～） ・ふるさと納税を募るサイト（ふるさとチョイス）において、被災地支援を行うCSOへの寄附を呼びかけ （3団体：Civic Force、難民を助ける会、佐賀未来創造基金×SPF※） ※役割：佐賀未来創造基金（寄附の呼びかけ・分配） SPF（支援活動） 		

【災害ボランティア参加実績】

・個人ボランティアの募集

受付方法：県社会福祉協議会特設サイトにて受付

参加延べ人数（7月14日～7月31日）

佐賀市	唐津市	計
288人	526人	814人

【包括連携協定締結企業等からの支援実績】

資材・物資名	提供者
ボランティア送迎用大型バン 物資輸送用トラック	佐賀県オールトヨタ
災害ボランティア用飲料	トヨタカローラ佐賀（株） 佐賀トヨペット（株） 佐賀トヨタ自動車（株） （公社）Civic Force 日本生命保険相互会社 江崎グリコ（株） 三井住友海上火災保険（株）
スマートフォン、ipad、Wifi	（株）NTTドコモ九州支社
タオル	第一生命保険（株） （特非）グッドネーバース・ジャパン 三井住友海上火災保険（株）
マスク、 お見舞いセット（軍手、タオル、ごみ袋）	あいおいニッセイ同和損害保険（株）

（参考）佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）の状況

【設置状況】

○災害支援拠点の設置

設置者：佐賀災害支援プラットフォーム

設置日：7/14（金）

場 所：唐津市七山

活 動：中間支援（賛同団体 62 団体及び県外 CSO）

- ・被災地（者）のニーズ調査
- ・災害ボランティア団体等との情報共有
- ・県外ボランティア団体の受入れ調整

※CSO等の災害支援活動状況：＜7月31日とりまとめ分＞

- ・県内CSO等 21団体
- ・県外の災害支援専門団体等受入 13団体

【今後の対応】

- ・被災地の現場ニーズを把握し、関係機関と情報共有・連携しながら、ボランティア活動の円滑な実施を支援していく

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（県民環境部）</p>
<p>【取組項目】 災害廃棄物の処理支援</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・市町及び一部事務組合の廃棄物処理施設に「大きな被害なし」・災害廃棄物の広域処理に関して、「県への要請なし」
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・環境省職員と7月12日に佐賀市、7月13日に唐津市の現場を確認・助言（市町から具体的な要望はなし）
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・災害廃棄物の処理について、引き続き市町からニーズ等の情報収集を行っていく

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（教育委員会事務局）</p>
<p>【取組項目】 児童・生徒のケア</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のケアが必要な児童・生徒に対して、スクールカウンセラー派遣等の対応が必要 ・教科書や学用品を喪失等した児童・生徒に対して速やかな給与が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のケアが必要な児童、生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・唐津市教育委員会からスクールカウンセラーの派遣要請があり、1名派遣 ・他の市町に対し、スクールカウンセラーの派遣の必要性を確認、<u>8月1日</u>現在、派遣要請なし ・教科書及び学用品の給与を必要とする児童・生徒の給付対象者が、<u>8月1日現在</u>、<u>3名</u>おり、<u>速やかに給与予定</u>
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会及び学校と連携し、児童、生徒に寄り添いながら心のケアに取り組む ・市町教育委員会及び学校と連携し、教科書や学用品の給与を<u>8月6日（日）</u>までに完了するよう取り組む

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（男女参画・こども局）</p>
<p>【取組項目】 保育の確保</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の氾濫により平原保育園の園舎に土砂が流入。護岸が崩落し敷地の一部も崩落しており、園舎が使用できない状態。早期に保育の再開が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎の復旧に時間を要するため、近隣の古瀬公民館及び平原集会所（浜玉林業構造改善センター）で7/19（水）から保育を再開 ※再開に向けてボランティアのスタッフによる支援あり ・園舎の復旧等について、唐津市と園で調整を進めている
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐津市と情報共有・連携し、園児への保育の提供が継続でき、保護者が安心して子どもを預けられるよう、こどもの心のケアや代替施設での安全な保育環境の確保等、現場に寄り添った支援を行っていく ・園舎等の復旧に係る国庫補助（災害復旧補助）の情報収集を進め、唐津市と情報を共有していく

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

【グループ】 IV 総括（政策部）
【取組項目】 復旧・復興等に関する相談窓口の設置
【課題】 ・県民への適切な情報提供
【復旧・復興に向けた取組状況】 ・相談窓口（復旧・復興等コールセンター）を7月13日（木曜日）に設置し7月28日（金曜日）まで運用 （対応時間）平日午前9時～午後5時 （回線数）2回線 ※相談件数： <u>15</u> 件（ <u>7/28 17:00</u> まで）
【今後の対応】 ・ <u>対応終了</u>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム

【グループ】 IV 総括（危機管理・報道局）
【市町の警戒体制】（8月2日9時現在） ・災害情報連絡室：1市（唐津市）（7月18日15時に格下げ）
【避難等情報】（8月2日9時現在） ○避難指示等：なし（7月18日15時に避難重点区域体制へ移行のため解除） ○避難所開設：1市町 ○避難所数：1か所 ○避難者数：5世帯、8名 ○休園：なし（7月19日より公民館等を利用し開園）
【災害救助法の適用】 3市町（佐賀市、唐津市、伊万里市）に適用（7月10日11時）

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム

【グループ】 IV 総括（総務部）
【リエゾン派遣】 唐津市に3名派遣（7月13日～7月21日） 現在も現地の情報収集については、リエゾンを通じて継続中

令和 5 年 7 月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 IV 総括（総務部）</p>
<p>【取組項目】 被災者の今後の経済的不安への対応等</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者への県税の減免等に関する情報提供 ・豪雨災害からの復旧・復興に対するふるさと納税寄附の活用
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <p>（県税の減免等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の豪雨災害被災者に向け、県税の減免等の内容・手続について県 HP への掲載を実施済み（7/13） ・県税の減免等に関するプレスリリースを実施済み（7/13） ・県税事務所における減免等についての申請受付・相談対応を実施（相談 2 件） <p>（ふるさと納税）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附の募集開始（7/13 ふるさと納税ポータルサイトへ掲載） ・ふるさと納税寄附の募集について、プレスリリース及び県 HP への掲載を実施済み（7/18） ・法人寄附の募集について、県 HP への掲載を実施済み（7/18） ・ふるさと納税寄附・法人寄附の募集について、首都圏事務所及び関西・中京事務所へ周知済み（7/18）
<p>【今後の対応】</p> <p>（県税の減免等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県税事務所における減免等についての申請受付・相談対応を継続 <p>（ふるさと納税）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附及び法人寄附の募集を継続